

別 紙（新 規）

1. 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の名称及び所在地

住宅の名称	(ふりがな)		
所在地 (住居表示※)	(郵便番号)		
住宅に 関する権原	☐ 1. 所有権 ☐ 2. 賃借権 ☐ 3. 使用貸借による権利 (期間 年 月 日から 年 月 日まで)		

※住居表示が決まっていない場合には、地名地番を記載すること。

2. 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業を行う者

2-1. 法人の場合

商号、名称	(ふりがな)		
住 所 (主たる事務所の所在地)	(郵便番号)	(電話番号)	
代表者氏名	(ふりがな)	生年月日	
法人の役員	別添 1 のとおり		
宅地建物取引業の免許証番号 (宅地建物取引業者である場合)			
住宅宿泊管理業の登録番号 (住宅宿泊管理者である場合)			
賃貸住宅管理者登録簿の登録番号 (賃貸住宅管理者である場合)			

2-2. 個人の場合

氏名	(ふりがな)	生年月日	
住 所	(郵便番号)	(電話番号)	
法定代理人 (未成年者である場合)	法人・個人の別	☐ 法人 ☐ 個人	
	商号、名称又は氏名	(ふりがな)	生年月日 (個人の場合)
	住 所 (法人にあっては 主たる事務所の所在地)	(郵便番号)	(電話番号)
	法人の役員 (法人の場合)	別添 2 のとおり	
	宅地建物取引業の免許証番号 (宅地建物取引業者である場合)		
	住宅宿泊管理業の登録番号 (住宅宿泊管理者である場合)		
	賃貸住宅管理者登録簿の登録番号 (賃貸住宅管理者である場合)		

3. 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の戸数、規模並びに構造及び設備

住宅戸数	登録申請対象戸数	戸
居住部分の 規模※	(最小)	m ²
	(最大)	m ²
構造及び設備	共同利用設備 ☐ あり ☐ なし	詳細は別添3のとおり (共同居住型賃貸住宅の場合は別添4)
	☐ 共同居住型賃貸住宅として使用	
	構 造 造	
着工又は竣工の年月	☐ 着工 ☐ 竣工 年 月	
その他	☐ 登録後に耐震改修の工事を行い、工事完了後に耐震性等を確保する場合(工事完了予定 年 月)	

※登録申請対象戸数が1戸の場合には、「居住部分の規模」は「(最小)」の欄に記載すること。

4. 入居を受け入れることとする住宅確保要配慮者の範囲(範囲を定める場合)

入居を受け入れることとする主な住宅確保要配慮者	☐ 低額所得者 ☐ 被災者(災害から3年以内) ☐ 高齢者 ☐ 障害者 ☐ 子どもを養育している者 ☐ 外国人 ☐ 中国残留邦人等 ☐ 児童虐待を受けた者 ☐ DV被害者 ☐ ハンセン病療養所入所者等 ☐ 帰国被害者等 ☐ 犯罪被害者等 ☐ 保護観察対象者等 ☐ 刑の執行のため刑事施設に収容されていた者等 ☐ 困難な問題を抱える女性 ☐ 生活困窮者 ☐ 国土交通大臣が指定する災害の被災者 ☐ その他都道府県又は市区町村の供給促進計画において定められた者	詳細がある場合は以下に具体的に記入
-------------------------	--	-------------------

5. 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅である旨

住宅確保要配慮者専用賃貸住宅の戸数	戸	住戸番号 (共同住宅の場合)	
-------------------	---	-------------------	--

6. 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の家賃その他賃貸の条件に関する事項

家賃の概算額※	(最低)	約	円	詳細は別添3のとおり (共同居住型賃貸住宅の場合は別添4)
	(最高)	約	円	
共益費の概算額※	(最低)	約	円	
	(最高)	約	円	
敷金の概算額※	(最低)	約	円	
	(最高)	約	円	

※登録申請対象戸数が1戸の場合には、それぞれの概算額は「(最低)」の欄に記載すること。

7. 入居に関する問合せ先

商号、名称 又は氏名	
連絡先※	

※「連絡先」欄には連絡のとれる電話番号を記載すること。

住宅の規模及び設備等

1. 専用部分の規模及び設備等

[illegible]

注1) 住戸のタイプ別(規模、設備及び新築住宅と既存住宅の別)にまとめて記載すること。

注2) 設備欄の『完備』は、各戸に便所、台所、収納及び浴室の全てを備えるものを表す。

注3) 浴室はシャワー室を含む。

※1 有りの場合のみ○を記載すること。完備の場合は、完備の欄のみ○を記載すること。

※2 新築住宅の場合のみ○を記載すること。

2. 共同利用設備等

設備等※	
台所	
収納	
浴室	

※有りの場合のみ○を記載すること。

住宅の規模及び設備等(共同居住型賃貸住宅用)

1. 専用部分の規模及び設備等

専用部分の 床面積 (㎡)	設備※1						住戸数 (戸)	住戸番号 (該当するものを 全て記載)	月額家賃 (上限額) (円)	新築住宅 ・既存住宅 の別※2
	完 備	便 所	洗 面	浴 室	台 所	洗 濯 室				

注1) 住戸のタイプ別(規模、設備及び新築住宅と既存住宅の別)にまとめて記載すること。

注2) 設備欄の『完備』は、各戸に便所、洗面、浴室、台所及び洗濯室の全てを備えるものを表す。

注3) 浴室はシャワー室を含む。

※1 有りの場合のみ○を記載すること。完備の場合は、完備の欄のみ○を記載すること。

※2 新築住宅の場合のみ○を記載すること。

2. 共同利用設備等

設備等※1		整備箇所 数	想定利用住戸※2 の入居可能者数 等※3	想定利用住戸の 入居可能者数等/整備箇所数
便所				
洗面				
浴室		(うち浴室 (シャワー 室を除く。) の数:)		
台所				
居間				
食堂				
洗濯室				

※1 有りの場合のみ○を記載すること。

※2 想定利用住戸には、登録の対象としない住戸も含めること。

※3 ひとり親世帯向け共同居住型賃貸住宅の場合にあっては、共同居住型賃貸住宅(ひとり親世帯円滑入居賃貸住宅を除く。)の入居可能者数及びひとり親世帯円滑入居賃貸住宅の入居可能世帯数の合計数(以下同じ。)

3. 延べ床面積等

全住戸※の入居 可能者数等	当該地域における最低延べ床面積 (基本:全住戸の入居可能者数等×15+10)	住棟の延べ床面積 (㎡)※

※全住戸と延べ床面積には、登録の対象としない住戸も含めること。